

高齢者の着脱介護について考えよう

福祉 基礎介護 第1学年

石川県立田鶴浜高等学校・教諭

1 事例の概要

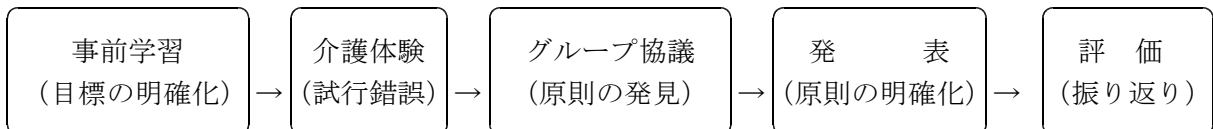
本校は健康福祉科があり、介護の仕事に就くことを目指している生徒が大多数である。そのため目的意識が高く、授業には真摯な態度で取り組んでいる。また、夏休み中においては、積極的にボランティア活動に参加し、特に高齢者などが入所している施設等の訪問から福祉に対する興味・関心を一層深めたようである。そこで、利用者・介護者の双方を体験しながら、自分たち独自の着脱介護の方法を導き出し、まとめていくことによって、介護従事者の職業観の基盤となる介護の意義と役割を理解させ、高齢者に対して多様な自立生活を保障していくための基礎的な知識及び技術を習得させたいと考え、本実践に取り組むことにした。さらに、介護従事者として必要な話す能力や書く能力の育成にも配慮した。

2 実践内容

(1) 単元の目標

- ・高齢になることにより生ずる生活上の変化や、その支援のあり方について関心をもち、意欲をもって学習に取り組むことができる。
- ・介護実習を通して、日常生活の援助としての基本的な介護の知識と技術を習得させ、介護技術を総合的に活用することの必要性を理解している。
- ・高齢者の特性を理解し、生きがいに満ちた心豊かな生活ができるように援助する方法を具体的に考えることができる。

(2) 指導上の工夫点（視点）



① 介護体験とグループ協議

利用者役・介護者役の双方を体験しながら実技を身につけていくことで介護者の一方通行にならず、利用者の自立支援を行うための介護の方法が考えられるようにした。

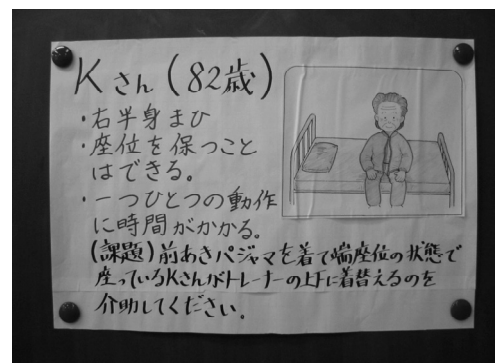
また、利用者の状態にあった介護の工夫ができるよう、グループ協議において介護の手順の原則を考えさせ、介護従事者としての資質と態度を身につけさせるように配慮した。

② 事前学習プリントの活用


生徒自身が目標を持って授業に参加するために、事前学習プリントを使い、着脱の手順や留意点を調べたり、声かけの仕方を考えたりするなどの予習をするように指導した。

③ 表現力の育成

自己や他者の意見をまとめるプリントを記入する機会や自分の意見を発表する機会を設けた。また、自己を客観的に振り返るためにも自己評価表等を記入させるなど、書く能力や話す能力の育成にも心掛けた。



3 指導の実際

学習内容	生徒の学習内容	教師の指導・留意点	評価規準
2 着脱介護の方法と原則を導く	(グループ活動) ・利用者役と介護者役を決め、片麻痺の高齢者を想定した着脱介護を行ってみる。 ・グループで見つけ出した原則を短冊に記入する。	・それぞれのベッドを周りながら、高齢者の特性に配慮した方法を見つけ出せるよう指導する。 ・安全・安楽な着脱介護を目指し、声掛け等にも留意するように告げる。	手順や留意点を考え、着脱介護の基本的な原則を導き出すことができる。 【思考・判断】 (学習プリントの記入状況)
3 着脱介護の原則を発表する	・短冊を黒板に貼り、全員の前で実演を行う。 ・それぞれの発表の良かった点など感想を出し合う。		

C-1 指導案

C-2 ワークシート

C-3 自己評価表

4 成果と課題

(1) 指導方法の工夫

生徒の自己評価の結果からも、残存能力の活用や着脱介護の原則の理解について、90%以上の生徒が「よくできた」「まあまあできた」と回答するとともに、「よりよく介護するためにはどうしたらよいか考えることができた」と記入しており、体験を通して学ぶことがより深い理解につながっていることがわかった。

また、グループ協議では、お互いに意見を出し合い、自分たちで介護手順の原則を考えることができ、概ね満足感を得ていたようである。

しかし、一方では傍観しているだけの生徒もおり、その生徒の自己評価は他の生徒に比べて、大幅に低かった。また、着脱介護の際の原則を自分たちで導き出していくことを目的としたため、「自分たちのやり方が正しいのかわからなかった」という意見もあった。発表しやすい雰囲気を作るために、生徒の発表の良いところだけをピックアップし、間違った部分をその場ですぐに指摘しなかったことが生徒の不安に結びついたこともわかり、今後の課題となった。

(2) 事前学習プリントの活用

事前学習プリントで、生徒は自分なりの方法や声掛け等を事前に考え、イメージすることが出来たので、ある程度の見通しや目標を持って授業に臨むことができ、より深い学習に繋がった。

(3) 表現力の育成

グループ協議やその後の発表で、生徒が積極的に発言する場面が見られた。また、学習プリントや自己評価表には、発表には表れてこなかった率直な意見や感想も見られ、次回の授業に役立てることもできた。今後も様々な場面で自分の思いや考えを書いたり、発表したりする機会を多くもち、介護の実践場面に応用できるようにしていきたい。

D-1 自己評価の結果

D-2 生徒の感想